

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	パブリカ		公表日			令和8年 3月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		床に物を置かない等、視覚的に余裕があるレイアウトにしています。 スペースは設備基準を遵守しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	基準人員を満し、専門性を持って支援にあたっております	職員の増員も進めております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		手摺の設置や訓練室のドアを引き戸にする等の配慮を行っています。 段差は玄関上がり框のみです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日、清掃、整理、消毒を行っております。 活動に合わせ机等を配置しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要な際に個別対応ができる個室、空間があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎朝のミーティングや児童帰宅後の引継ぎ等から、問題解決・業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者アンケートを実施し、今後の運営に役立てるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティング内で意見を共有できる環境になっており、改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在は保護者と社内の評価のみとなっておりますが、今後必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・毎月、必ず研修を行っています。(オンラインの研修なども参加) ・研修報告を通して、全員で共有し実践しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		HPIにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者を中心に、こどもと保護者の皆様との面談し、個別ニーズに合わせた計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者を中心に、個別ニーズに合わせた支援ができるよう職員間で検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		活動の立案やミーティングでの振り返りは計画目標に沿った視点で行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		事業所内で定められた書式にて、アセスメントを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		必要項目を満たした計画様式となっております。 支援内容は事業所で提供できる事を踏まえた視点で検討され、具体的な支援方法を記載しております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムの立案や企画に関しては会議を開催し、職員全員で固定化しないように立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムの立案や企画に関しては会議を開催し、職員全員で固定化しないように立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団で過ごす中で、1対1での関わり・少人数での活動・全体での活動など、目的に応じて組み合わせ作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前後には必ずミーティングを開催し、記録書面と口頭で児童の状況や支援内容を共有し、細やかな引き継ぎができるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		引継ぎ、連絡事項、子どもたちの様子・変化など周知を行い共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をもとに定期的に職員間でケース会議を行い、支援の検証・改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも6ヶ月に1度モニタリングを実施しています。モニタリングの結果、計画の見直しが必要となった場合には、適宜計画を更新しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインを全職員に周知し、活動プログラムを組み立てる際の参考にしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども自身が判断し発言や行動ができるよう、その方法の練習や実際に行動する場を経験する機会を設けています。	
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管や管理者が担当者として参加しています。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要な際は協力医療機関や関係機関と連携する体制となっております。	
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との連携、情報共有を行っています。ケースによっては、学校の先生と担当者会議をしています。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		情報共有を行っています。	
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現在該当児童が在籍していませんが、今後要望があればサービス担当者会議に参加し、スムーズな引き継ぎができるよう努めていきます。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			連携は取れていますが、助言や研修は受けていません。今後、研修の参加等を検討していきます。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			公園や外出先で一緒になる場面があり、公共ルールのもと譲り合いなどの交流を経験できる機会があります。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			実施された時には参加しています。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			事業所での活動の様子や今後の課題について、書面のほか口頭でもお伝えするよう心がけています。保護者との対話を通して、相互理解が促進されるよう努めています。
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			個別面談を行い、困りごとや悩みを共有し、解決できるような相談・支援体制を作っています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明を行っています。ご不明な点等のお問い合わせがあった際は、書面や口頭で説明しています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的な面談などから支援の要望を確認し、様々な活動を提供できるように工夫や改善を重ねております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援の方針や目標をお伝えし、実際にどのような支援を行っていくか内容も説明し、同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談を受けた際には課題解決に向けて取り組んでいます。送迎時、電話、面談等で対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会などは設けておりませんが、自社合同イベントでは保護者への参加も呼びかけ交流ができる機会となっております。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付、解決へ向けた流れについて、ご契約時に説明しています。また、解決に向け迅速に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月間予定表と活動内容の概要をプリントで配布しています。また毎月の活動の様子をプリントで配布し、ホームページでも公開しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に保護者からいただいている個人情報使用に関する同意書の中で「厳守事項」を明記し、これを行動規範としています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童の状態像に合わせ、情報伝達方法を変えるなど可能な限り配慮をしています。各保護者へは面談の他、電話等での相談を実施しています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		自社合同イベントでは地域への参加も呼びかけ交流ができる機会となっております。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定しHPにて公表しております。定期的に研修や訓練を実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎年度、訓練を実施しています。実施後に保護者に周知しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		アセスメント、モニタリング時の確認の他、受診後にも確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前にアレルギーの有無を把握し、程度によっては指示書のもと対応を行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、計画に沿って毎月の研修や訓練、点検を行っております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		送迎時や外出時の事故リスクが想定される場合は事前にお伝えし、安全に過ごすための取り組み方法を共有しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例集・報告書を作成し、職員への周知・注意喚起に努めています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置しています。また研修に参加し、その内容をフィードバックする事で適切に対応できるよう努めています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う時には条件を決め、保護者の方に説明し了解を得るようにしています。	現在は対象児童がいらない為個別支援計画に反映していませんが、今後は必要に応じて記載していきます。	